

形大医総第5780号
令和6年1月19日

各関係機関の長 殿

山形大学大学院医学系研究科長
上野義之
(公印省略)

山形大学大学院医学系研究科医学専攻病理診断学
講座担当助教候補者の推薦について(依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本研究科病理診断学講座では、下記のとおり教員を公募することとなりました。つきましては、貴職関係者にご周知いただくとともに、適任者がおられましたらご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹言

記

1 所 属 病理診断学講座

2 職種及び人員 助教 1人

3 採用予定年月日 令和6年9月1日

4 職務内容

病理診断学講座における病理診断・解剖、ならびに教育・研究

5 応募資格

- (1) 病理診断の経験がある方(病理専門医資格を有している方が望ましい)
- (2) 病理解剖執刀経験と剖検報告書作成の経験がある方
- (3) 博士号取得は問わないが、原著論文を書く意欲のある方

6 待遇等

採用時にテニュア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニュア取得となります(テニュアトラック制度※)。採用時審査で不可となった場合は、テニュアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニュア審査が行われ、可とされた場合にはテニュアが付与されます。

※本学のテニュアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

(1) 紹介

国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

(1) 履歴書（別紙様式1） PDFファイル1部

(2) 業績目録（別紙様式2） Excelファイル1部

(3) 病理解剖の執刀数の記載と剖検報告書のコピー 書式自由

（剖検に関する個人情報は黒塗りにするか、削除した形にしてください）

9 公募締切日 令和6年4月30日（火）必着

10 面接及びプレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先

下記まで提出書類電子ファイルをメール添付にてお送り下さい。

〒990-9585

山形市飯田西二丁目2-2

山形大学大学院医学系研究科医学専攻病理診断学講座

二口 充 宛

E-mail: futakuchi@med.id.yamagata-u.ac.jp

12 問い合わせ先 書類提出先に同じ。

13 その他

(1) 山形大学では、男女共同参画の推進とワークライフバランスの実現に取り組んでいます。保育支援制度が整っており、医学部には、保育所・病児保育室が設けられ、子育て支援が充実しています。また、ダイバーシティ研究環境実現のために、女性研究者の活躍を支援する制度（研究継続支援員制度や学会参加時の保育支援制度など）も整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室：

<https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

(2) 学生に対する性暴力等を原因とする懲戒処分歴がある場合は、その具体的な事由を応募の際に必ず申告してください。なお、当該事実が後日判明した場合は、経歴詐称による採用取消、懲戒解雇等の対象となる場合があります。

(様式 1)

履歴書

記載例

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな ○○ ○○ ○○ ○○
氏名： ○○ ○○ ○○ ○○ ◎ 昭和 42 年 (1967) ○月〇〇日生 (〇〇歳) 性別
(旧姓名: ○○ ○○ ○○)

所属・職種： ○○大学○○学部○○学第二講座・准教授
〒〇〇〇-〇〇〇〇 ○○市○○町○丁目〇〇-〇〇
電話: ○○-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX: ○○-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール: 0000@00000.00.jp

現住所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 ○○市○○町○丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: ○○○県
電話: ○○-〇〇〇-〇〇〇〇

学歴: 昭和 61 年 (1986) 3 月 ○○高等学校卒業
平成 4 年 (1992) 3 月 ○○大学医学部医学科卒業
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 4 月 ○○大学大学院医学研究科医学専攻入学
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 3 月 同上 修了

免許等: 平成 4 年 (1992) 4 月 16 日 医師免許 (第〇〇〇〇〇〇号)
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇〇 月 〇〇 日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医 (第〇〇〇〇号)
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 日本〇〇学会認定〇〇医 (第〇〇〇〇号)
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇〇 月 〇〇 日 日本〇〇〇〇学会認定指導医 (第〇〇〇〇号)
学位: 平成〇〇年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 医学博士 (〇〇大学), または博士 (医学) (〇〇大学)

職歴: 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 国立〇〇病院医員 (研修医) (外科)
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇〇 月 〇〇 日 同上 辞職
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 ○○大学医学部助手 (〇〇学第二講座)
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇〇 月 〇〇 日 同上 辞職
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 ○○県立〇〇病院 (〇〇部)
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 同上 辞職
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 〇〇 月 〇 日 米国〇〇〇〇〇〇大学研究員 (〇〇学)
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 帰国
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 ○○大学医学部附属病院助教 (〇〇部)
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 ○○大学医学部講師 (〇〇学第二講座)
令和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 ○○大学医学部准教授 (〇〇学第二講座)
現在に至る

所属学会等: 日本〇〇学会 (評議員: 平成〇年~現在)
日本〇〇〇学会
日本〇〇〇〇学会 (評議員: 平成〇年~現在)

社会貢献: ○○病院への応援診療 (平成〇年~現在)
○○県〇〇〇審議会委員 (平成〇年~令和元年)
〇〇〇高校における講演「〇〇〇〇〇 (演題)」 (令和〇年〇月〇日)
※特筆すべき活動のみを記載してください。

賞罰: なし

業績目錄

記載例

氏 名：

〔原著〕・〔症例報告〕・〔総説〕・〔国際学会のProceeding〕

著者名	論文タイトル	ジャーナル名(巻・頁・年)	著者区分	責任著者の有無	インパクトファクター	ランク
1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M	Malignant Clinical features of anaplastic gliomas without IDH mutation (oooooooooooooooooooo, oooooooooooooooooooo, ooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo.)	Neuro Oncol 17 136-144 2019	◎	●	9.0000	Q1
2 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S	Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery	J Cereb Blood Flow Metab 34 136-43 2018	◎		5.4900	Q1
3 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M	Risk assessment for venous thromboembolism in patients with neuroepithelial tumors : pretreatment score to identify high risk patients	Neurol Med Chir(Tokyo) 53 455-466 2017	◎			
4 Beniya H, Yonezawa E, Sagae M, Yamagata T	The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH mutation	Neuro Oncol 15 iii223 2017		●	9.0000	Q1
5 山形太郎, 紅屋花子, 寒河江光政	バルスジェットメスを用いた蝶形骨縁離膜腫摘出手術－血管温存能を活用して	脳神経外科 42 1019-1025 2018				
6 上山洋一, 米沢恵美子, 山形太郎	脳腫瘍の最新治療法	Convection-enhanced delivery Clinical Neuroscience 31 1186-1187 2017				

[著者]

執筆者名	執筆タイトル	著書名(頁・年)	編者名	出版社
1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Tsuruoka S	The role of IDH1 and IDH2 mutations in malignant gliomas. In : Hayat MA, editor.	Tumors of the central nervous system, vol.2 2017		Springer
2 山形太郎	緊急対応を要する脳腫瘍 神経救急診療の進め方	脳神経外科 診療プラ クティス4 pp167 2014		文光堂

〔学会發表〕

発表者名	発表タイトル	発表学会名(開催地・年)
1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M	The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH gene mutation. (Poster)	The 4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology San Francisco USA. 2017
2 山形太郎, 寒河江光政	神経膠腫発生に関与する遺伝子異常 (プレナリーセッション)	第32回脳神経外科コングレス 横浜 2016

記入要領（様式2）

- 1 原著、症例報告、総説、国際学会のProceeding、著書及び学会発表の順に、各項目に分けて記載してください。
なお、印刷中（In Press）の論文については受理証明書若しくはDOIを添付・併記してください。
 - 2 項目ごと英文を先、和文を後とし、年代の新しいものから順に記載してください。
 - 3 具体的記載について
 - (1) 原著、症例報告、総説、著書及び国際学会のProceedingについては、原則として記載例にならってください。
なお、次の点にも御注意ください。
 - ・雑誌の略誌名は、Index Medicus 及び医学中央雑誌に収載されているものに準じる。
 - ・全著者名を記入し、本人名には下線を付する。
 - ・主要論文（20編以内）に○印を付け、日本語で数行以内の概要を記入してください。
 - ・原著（英文）、症例報告（英文）、総説（英文）のうち、筆頭著者の論文には◎印を、第2著者の論文には△を、責任著者の論文には●印を付してください。（筆頭著者かつ責任著者の場合は◎●、第2著者かつ責任著者の場合は△●）
また、著者名が2番目でも、共同の筆頭著者である場合も◎を付けてください。
 - ・2022年におけるインパクトファクターのランクがQ1、Q2であるジャーナルの場合は、Q1又はQ2を併せて付してください。
 - (2) 学会発表については、全国規模の国内学会（地方会・支部会除く）での特別講演、教育講演、シンポジウム等、及び国際学会で筆頭者として発表したものに限ります。